

【評価】 R4年度事業実施状況 評価判断基準

◆事業実績評価（事業計画どおり事業を実施したか、効果は十分であったか）

A	<ul style="list-style-type: none"> ○事業計画どおりの事業等が予定どおり実施できた。 ○数値化できる場合、実施率が100%以上。 ○実施した事業内容で、対象者全員への十分な効果があったと。 ○効果が十分であったため事業等について改善の必要がない。
B	<ul style="list-style-type: none"> ○事業計画した事業等がほぼ予定どおり実施できた。 ○数値化できる場合、実施率が75～99%。 ○実施した事業内容で、対象者全員へほぼ効果があった。 ○より効果的な事業等にするため軽微な改善が必要である。
C	<ul style="list-style-type: none"> ○事業計画した事業等が予定どおりには実施できなかった。 ○数値化できる場合、実施率が50～74%。 ○実施した事業内容では、対象者一部への効果あったが、全体への効果はやや不十分である。 ○効果的な事業等にするためには改善が必要である。
D	<ul style="list-style-type: none"> ○計画した事業等がほとんど実施できなかった。 ○数値化できる場合、実施率が50%未満。 ○実施した事業内容では、対象者一部にしか効果がなかった。 ○より効果的な事業等にするためには抜本的な改善が必要である。
—	<ul style="list-style-type: none"> ○災害や感染症拡大防止等のため実施できなかった。 ○事例発生しなかった。

◆人権視点評価（人権尊重の視点に立って事業ができたか）

A	<ul style="list-style-type: none"> ○事業内容が誰に対しても公平に利用、参加できるものであった。 ○日時や場所等が、利用者や参加者に対して配慮したもとなっていた。 ○利用者や参加者から人権的配慮に欠けたと思われる意見等が全くなかった。
B	<ul style="list-style-type: none"> ○事業内容が誰に対しても概ね公平に利用、参加できるものであった。 ○日時や場所等が、利用者や参加者に対して概ね配慮したもとなっていた。 ○利用者や参加者から人権的配慮に欠けたと思われる意見等が少数寄せられた。
C	<ul style="list-style-type: none"> ○事業内容が誰に対しても公平に利用、参加できることへの配慮が不足していた。 ○日時や場所等が、利用者や参加者に対してあまり配慮されていなかった。 ○利用者や参加者から人権的配慮に欠けたと思われる意見等が多く寄せられた。
D	<ul style="list-style-type: none"> ○事業内容が誰に対しても公平に利用、参加できることへの配慮がなかった。 ○日時や場所等が、利用者や参加者に対して配慮をしていなかった。 ○利用者や参加者から人権的配慮に欠けていると苦情があった。
—	<ul style="list-style-type: none"> ○災害や感染症拡大防止等のため実施できなかった。 ○事例発生しなかった。

人権的配慮

講演会等の事業において、利用者に寄り添った手話通訳や車いす用の席、補助員の配置などをするを言います。

※ 上記のうち、記載された事業等の内容に合う判断基準を用いて評価してください。

※ 1つの評価に対して複数の事業が記載されている場合は、各事業の評価を総合して判断してください。